

文化芸術連携授業 授業の流れと活動内容（例）

【茶道のおもてなしの心にふれる】 感謝の心を形にする

連携先：県立陶芸の森、MIHO MUSEUM

①茶道についてのお話 講師：美術館学芸員

②茶道体験 講師：茶道家



美術館学芸員による茶道の話と茶碗の鑑賞



茶道家によるお茶会体験

③茶碗制作 講師：陶芸家 講師・生徒補助：滋賀次世代文化芸術センター



陶芸家による制作の説明



絵付けは一回勝負！



コーディネーターが授業を調整  
学生文化ボランティアも参加

④自分のお茶碗でおもてなしのお茶会 息を飲むほどの真剣さ

サポート：学芸員、茶道家、滋賀次世代文化芸術センター



お茶を点てる体験



おもてなしの会に向けた準備



おうちの方に感謝の気持ちを  
伝えるおもてなしの会

【アニメのルーツ 国宝 鳥獣人物戯画】 図工・美術・国語

連携先：MIHO MUSEUM

アニメのルーツと言われている国宝の「鳥獣人物戯画」についてお話を聞き、巻物のレプリカ(約 12m)を広げて鑑賞、そして巻物から自由に絵を選び、水墨を使って模写体験をします。  
国語科の授業「解説文を読み解く」をテーマに実施する学校も増えています。



美術館所蔵の鳥獣人物戯画のお話



巻物を対話式で鑑賞



濃墨・薄墨を使い分けて模写体験